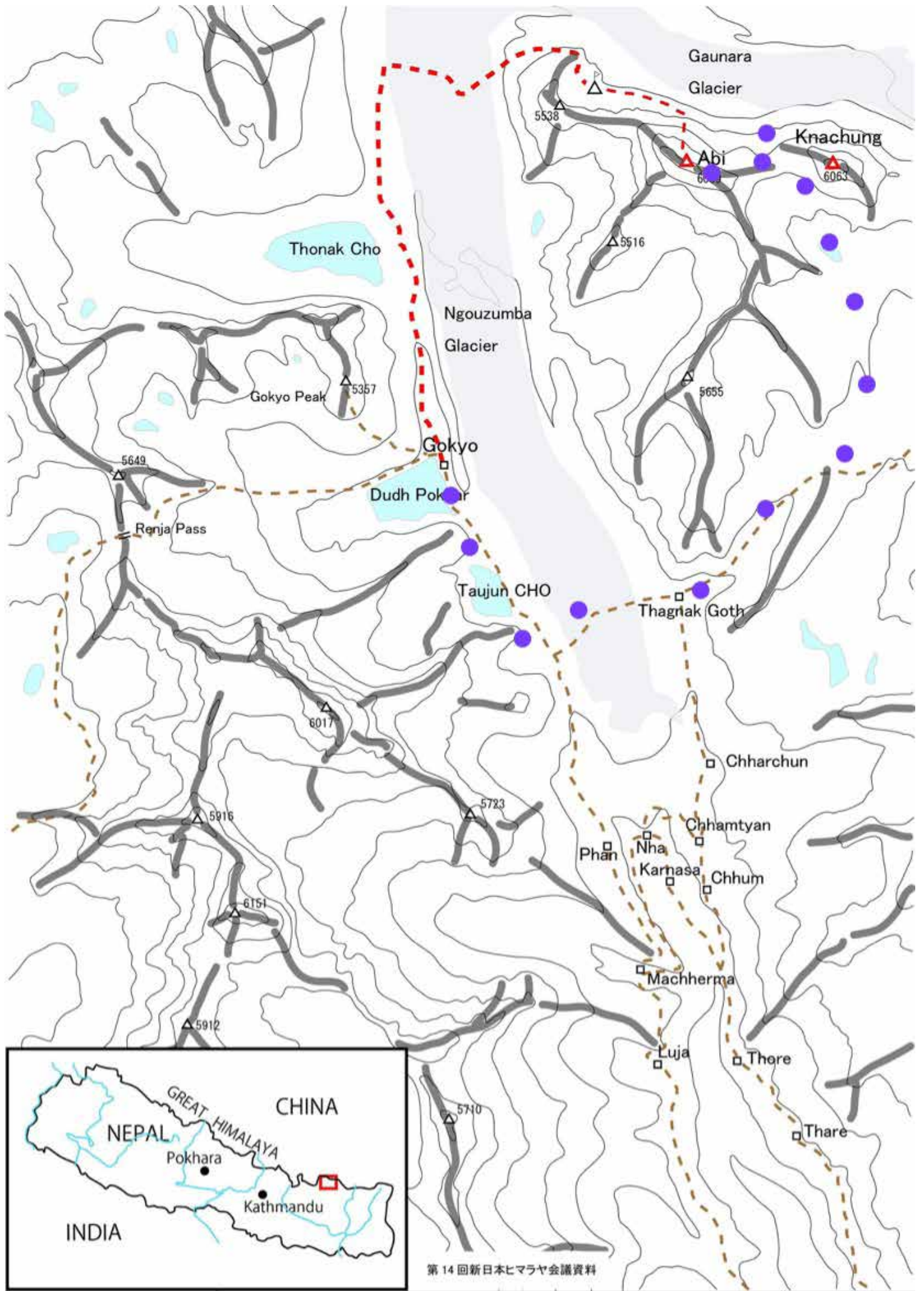


令和4年度
年次晩餐会記念講演会資料

海外登山助成登山隊報告
6000 m級の未踏ラインと
ファスト・マウンテナリアリング
山田利行（東海支部）





ファストマウンテナリングと FKT (Fastest Known Time) の魅力

・ファストマウンテナリング

「ファストマウンテナリング」という言葉は直訳すると速攻登山の意味ではあるが今回の計画で便宜的に使用しているもので、登山のジャンルとして確立しているわけではない。一般的な登山道を走る「トレイルランニング」や「スカイランニング」など、競技として正式な名前のついた近しい行為は存在するが、私の言う「ファストマウンテナリング」は整備された一般登山道だけではなく、普通であればロープを必要とする岩壁、岩稜帯、雪壁、雪稜、氷河など山に存在するあらゆる地形を対象としている。「ファストクライミング」の方がタイトル的には挑戦的ではあったが、今回の目標であるマナスルノーマルルートはクライミング要素は低く、氷河歩行が行程の大部分を占めるためファストマウンテナリングという名称にした。

・FKTとその魅力

FKTはFastest Known Timeの略で直訳では「知られている最も早いタイム」を意味する。アメリカのバズ・ブルーレルとピーター・バクウィンが非公式のレコードタイムを記録するために「fastestknowntime.com」というウェブサイトを立ち上げたのが始まりである。

最初にこのウェブサイトが注目を集めたのがアメリカにある有名なロングルートである「アパラチアントレイル」での記録だった。その後、イギリスに広がり、今ではヨーロッパアルプスや他の山脈でも行われるようになった。そのルールは単純であり、以下の制約さえ守れば、世界中のどんなルートでも当てはめることができる。

- 1・参加者は証人を必要としない。
 - 2・必ず5マイル以上の距離、500フィート以上の標高差があるルートを選ばなければならない(既存のルート以外でも前述の条件を満たすものは管理者に申請してウェブサイトにルートを追加することができる)。
 - 3・FKT中にはGPS機器を持ち、自分でその記録を取ることを。
- 以上の3点だけである。

しかし、クライミング技術を必要としないハイキングトレイルを対象にしていたFKTはクライミングを必要とする山のルートいわゆるバリエーションルートについて次のような制限を設けている。

- ・ロープの使用は総行動時間の10%以下ではない